



えんどう ひろき 遠藤 裕樹 議員

問 次世代の人材育成策は

答 DMO事業で育成と確保

議員 次世代に向けての人材育成の考えと、具体的な計画は。

町長 「まちづくり」を進める上で「人づくり」は不可欠と認識している。まちづくりを担う人材を育成・確保していく上で大切なのは、人をつなぐネットワークをつくり、その中でさまざまな経験を積み「自らの地域は、自らの手で創る」との気概を持って取り組むことだと思っている。

現在「くずまき型DMO事業」に取り組んでおり、町内のさまざまな分野の人材が町の現状を踏まえ、将来に向けた課題解決に果敢に挑戦している。この事業を通じて一つの「人材育成」が進んでいると実感している。現在、個別具体的な人材育成の計画は作成して

いないが、今後まちづくりに熱い思いを持った人材を受け入れるため、さまざまな支援事業を準備しているほか、DMO事業を展開する中で人材の育成と確保を図っている。

議員 5G時代への対応と農業、林業への活用は、

町長 5Gは次世代の通信インフラとして、今年サービスが始まる通信ネットワークであり、この活用によって高度な技術革新が行われ、社会的にも大きな変化をもたらすと期待されている。5G利活用の検討を進めるため、町総合計画・中期計画で重視する視点の一つとして位置付けた。町としてこれに対する取り組みを積極的に進め「葛巻らしい」活用策に取り組みたいと考えている。



くずまき型DMO事業のサイクルツーリズム

新型コロナ対策

議員 新型コロナウィルスの対策について、町の取り組みはどうなっているか。

町長 町では「対策連絡会議」を立ち上げ、情報の共有と体制の確認を行っている。町民に対してはくずまきテレビ、啓発チラシ、ライブビジョンアプリなどで情報の伝達を行っている。

学校については国からの要請を受け、春休みに入るまで臨時休校の措置をしているほか、卒業式の規模縮小などの対応を決めている。

葛巻病院では感染症専用の診察室を設けるなど、院内での感染を防止する対策を講じている。日々刻々と状況が変化していることから、国、県との連携を密にして万全な態勢で対応する。

～ 今ここが聞きたい ～

3月9日に、4議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 町財政をめぐる動向は

答 独自施策に国から財政措置



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

議員 鈴木町長が最初に編成した平成20年度予算と比べ、2年度予算を編成しての所見は。

町長 町長に就任した当時は、平成12年に地方分権一括法が施行され、国と地方公共団体が対等な関係となった一方で、国による平成の大合併が強行に押し進められ、市町村の数が減少したほか、平成16年度から実施された三位一体改革などにより、地方が独自施策に取り組むことができないほど、財政的にも大きな影響を受けた時期。

そうした中、平成20年度一般会計当初予算は平成17年度からの第4次行政改革大綱の実施期間中であつたことから、予算規模は約48億円でピーク時の約7割まで減少し、特に人件費と公債費の

削減は、他市町村より厳しい目標値を掲げ重点的に取り組み、行政コスト全体を抑制し財政運営は非常に厳しかった。

その後、平成26年に国が「経済財政運営と改革の基本方針2014」を打ち出し、東京一極集中の是正、人口減少対策など自治体が独自性を持つて、各種施策を展開する地方創生の取り組みに必要な財源が措置されるなど、財政運営を取り巻く状況が変化している。

2年度当初予算は予算規模が約68億円で、ピーク時の約9割まで戻ったものの、人件費は平成20年度比95割、公債費は65割となっており行政コストを抑制しながらも、住民生活に必要な基盤整備、住民の安心で快適な生活に向けたソフト事業、町の将来を見据えた人材育成や魅力づくり事業など、



江刈地区での水道整備工事

各分野にわたり「葛巻らしい取り組み」を盛り込むことができた予算編成になったと感じる。

議員 水道事業会計の財政・経営状況と地域人口減少課題から見た、老朽化が著しい北部地区水道施設の早期改修整備の見通しは。

とする「経営戦略」を策定しているところだが、大きな課題は人口減少に伴う給水収益の減少と、施設整備に伴う企業債の償還が増えることによる財政状況の悪化である。

こうしたことから、北部地区の水道施設の整備は、水道事業の経営状況を踏まえ、収支のバランスを考慮しながら、できる限り早期に着工できるように検討を進めたい。